



川越市立霞ヶ関東小学校だより

学校教育目標

たいよう

【た】 たくましい子

【い】 生き生きと活動する子

【よ】 よく考える子

第3号 令和5年5月31日(水)

【う】 美しい心の子

「あなたのことが大好きだよ」

校長 山崎 紀子

雨降りや蒸し蒸しした暑さが辛い季節がやってきましたが、霞ヶ関東小学校の「太陽の子」たちは、毎日元気に学習や運動に頑張っています。

さて、少し前の事ではありますが、「子どもの豊かな心、やる気、たくましく生きる力を培うためには」と題した講演を聞く機会をいただきました。

この講演は子育てについての内容でありましたが、深く頷けるお話であったり、ドキッと自分を省みるようなお話であったりと大きく心が揺さぶられる内容が盛りだくさんに詰まっていた。日々、子どもたちと接していくうえで、たくさんのご示唆をいただけたように感じ、私の心に残った素敵な講演の一つになっています。

私は以前より「自分を大切にできる子を育成したい、そのためには、子どもの自己肯定感・自尊感情を大切に育成していきたい」との思いをもっていました。この講演では、講師の豊富な経験に基づいた多くのお話の中でも、特に次のような内容が心にひかかりました。それは、「自己肯定感・自尊感情が育っていない子、社会のルールやマナーが身に付いていない子は、他人を大切にできる心も育っていません」というものです。そして、この自己肯定感・自尊感情を育成していくためには、子どもの安心感がその子の成長の基礎となり、親が子どもに「あなたが大事だよ」「大好きだよ」と伝え続けることがとても大切である、ということを繰り返し繰り返し述べていました。子どもはみんな、親や先生や周りの人に愛されたい。必要とされたい。存在を認めてもらいたい。ほめてもらいたい。甘えたい。そのような思いを持ち、それらが満たされる環境が整っていてはじめて、子どもの自己肯定感・自尊感情が育成されていくのだという内容のお話でした。

文章にすると、特に新しい内容ではないように感じますが、毎日、時間に追われながら子どもと接し、しっかり向き合うべき時であっても子どもを急かしてしまうような対応をすることがなかっただろうかと、強く自戒の念を持ったのを覚えています。

保護者のみなさん！

子どもに「あなたが大好きだよ！！」と伝えていますか？



水泳学習が始まる前に
教師全員で救命救急の研修会

